「指導の要点」と教材関連表　　＜内容項目C　小学校「国際理解，国際親善」　中学校「国際理解，国際貢献」＞

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教 | 学年 | 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | | 小６ | | 中１ | 中２ | 中３ | |
| 教材名  指導の要点 | ぼくとシャオミン | ひろいせかいのたくさんの人たちと | 三つの国 | 世界の小学生 | 「折り紙大使」～加瀬三郎 | 同じ空の下で | 白旗の少女 | エンザロ村のかまど | 日本から来たおばさん | 六千人の命のビザ | その子の世界、私の世界／そのこ | 命見つめて |
| 低学年 | 他国の人々に親しみをもったり，自分たちと異なる文化のよさに気付いたりすること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 他国を知り，親しもうとする気持ちをもつこと。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中学年 | 他国の人々や他国の文化に気付き，郷土や自国の文化と他国の文化との共通点や相違点などに目を向けること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 他国の人々もそれぞれの文化に愛着をもって生活していることを理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 他国の文化に関心や理解を深め，親しむこと。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 自国の文化と他国の文化のつながりや関係に目を向けること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高学年 | 様々な文化やそれに関わる事柄を互いに関連付けながら国際理解を深め，国際親善に努めようとすること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| それぞれの国の伝統と文化に愛着や誇りをもって生きていることについて理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 日本人としての自覚や誇り，我が国の伝統と文化を理解し，尊重すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 進んで他国の人々とつながり，交流活動を進めたりより親しくしたりしようとすること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中  学  校 | その国独自の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 様々な文化のもつ多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生などについて考えを深めること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 社会の変化に能動的に対応し，国際社会において自らの役割と責任を果たそうとすること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 国によってものの感じ方や考え方，生活習慣などが違っても，どの国の人々も同じ人間として尊重し合い，差別や偏見をもたずに公正，公平に接すること。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（例）◎・・・その教材で重点的に扱うことができる指導の要点　　　〇・・・その教材で扱うことができる指導の要点

※児童生徒や学校の実態，授業者の意図により自校化できます。「『指導の要点』と教材関連表」をダウンロードして活用してください。